

第 17 回 RCEP 交渉会合に向けて来日している海外 NGO 紹介



ジェーン・ケルシー/Jane Kelsey

ニュージーランド・オークランド大学教授。法律・政治、国際的経済規制が専門。新自由主義的なグローバル経済がもたらす負の側面へ警鐘を鳴らす。特に自由貿易定に着眼。アジア、南太平洋そして世界の研究者、NGO、労働組合と連携し、国際連帯運動に大きく寄与している。著書に「異常な契約 TPP の仮面を剥ぐ」(農文協)ほか。アジア、南太平洋、その他世界の多くの NGO、労働組合および社会正義ネットワークの活動にも貢献している。



ブルシュ・キリック/Burcu Kilic

米国パブリック・シチズンにて、貿易問題の調査研究を行う。専門は知的所有権 (IP)。TPP 協定交渉にも精通しており、米国における市民社会の貿易ウォッチの第一人者。RCEP 交渉には米国は加わっていないが、TPP や TTIP、RCEP など現在のメガ FTA 全般をフォローしており、RCEP 交渉会合にも NGO の立場で参加している。



ヴ・ゴック・ビン/Vu Ngoc Binh

ハノイを拠点とする「人口・家族・子供研究所」(IPFCS) のシニア・アドバイザー。マレーシアで 2016 年 7 月 27-28 日まで開かれた RCEP およびアジア太平洋地域の貿易協定に関する民衆戦略会議を含む、RCEP、TPP、その他の FTA についての数多くの会合、フォーラム、イベントに出席。同年 11 月にハノイで開かれた RCEP フォローアップ・セミナーで、「RCEP、TPP とベトナムの NGO と研究機関の役割」について報告。人権とジェンダーの観点から、TPP、RCEP、その他の FTA にかかわる問題について、ベトナム国内とアジア太平洋地域の団体のネットワークづくりに取り組む。



マージョリー・パミントワン/Marjorie Pamintuan

アジア太平洋地域の貿易と開発にかかわる研究、教育、アドボカシー活動を行う NGO のネットワーク「アジア太平洋リサーチ・ネットワーク」(APRN) の事務局長。マニラを拠点に活動。RCEP、TPP などの自由貿易協定に関する会合やワークショップを数多く主催、参加。2016 年 6 月にマレーシアで行われた RCEP およびその他の FTA に関する地域戦略会議に出席。同年フィリピンとインドネシアで、TPP と RCEP に関するワークショップを開催。2015 年に TPP に関するワークショップをマレーシア (4 月) とフィリピン (11 月) で実施。



アントニオ・サルバドル／Antonio “Tony” Salvador

「オルタナティブ・リーガル・サービスを通じた対話とエンパワーメントのためのイニシアチブ」(IDEALS) および、新たに設立された「トレード・ジャスティス・フィリピン」に、コンサルタントとして参加。拠点はマニラ。国際貿易問題、税制問題を得意分野とする労働法の弁護士。ISDS 訴訟にも通じている。日・フィリピン経済連携協定 (JPEPA) に関して 2 件の訴訟を起こした 4 人の弁護士の 1 人。クアラルンプールで 2016 年 7 月 27、28 日に開かれた RCEP 民衆戦略会議に参加。2008 年から 2016 年までの間に開かれた WTO パブリック・フォーラムの大半に参加。



シェイリー・グプタ／Shailly Gupta

国境なき医師団「必須医薬品キャンペーン」のインド副責任者。専門は公衆衛生と知的所有権 (IP) で、特に医薬品へのアクセスを妨げる通商協定と投資協定へのインド政府の関わりに反対するキャンペーンに従事。EU、EFTA、RCEP におけるインドの交渉を注視するとともに、知的所有権と医薬品のアクセスをめぐる、インド政府、国会議員、患者グループへのロビー活動も行なってきた。また、HIV/エイズ、結核、C 型肝炎に関して、治療に対する知識向上や権利の拡大という視点から患者ネットワークと共に活動している。

取材のお申込みは下記までお願いいたします。

担当：内田聖子 (090-7192-7448)

E-mail：kokusai@parc-jp.org

<http://rcepinfojp.blogspot.jp/>